

「シングルがいい!!」

某スーパーへ行ったら、十二ロール入りのトイレットペーパーが安かった! でも、え? 何? ダブルに、高級三重仕立て!? シングルがないじゃないですか。いくらお尻に優しくしても、下水、排水には厳しいんですよ。以前トイレが詰まって業者を呼んで修理してもらった。高い修理代を払った。業者の人に、「ペーパーはシングルがいいです。ダブルは詰まりやすいから」と言われ、未開封のものを交換し、以後シングルしか購入していない。

人生も、シングルがいい。子も孫もおらず寂しい? いえいえ気楽です。負け惜しみでなくシングルがいい。好き勝手にできるし、ストレスもなく幸せ!

父の晩年、施設—入院—手術—転院……で大変な時、思わず言った。

「おとうさん、京子が戻るといってよかったなあ!」

父は微妙な表情をしていたが、家庭持ちだったら……発狂していたかもしれない。



「母が……、来てくれた！」

六月二十五日の朝、雨上がりのベランダにヒヨウモン蝶が！

スマホで撮る。超接近しても逃げない。一回ひらくつと飛んで行ったけど、再び戻る。また写メ。カメラ目線で、ゆっくりヒラヒラとポーズまで！ やはり母だわ。動画も！

ずっと見ていられないから、一時間に一度ほど覗くと、場所をかえて……いる。

「京子、元気か？ 大丈夫か？」って感じで、母は見守ってくれる。私も「暑いから気をつけてね。輝子蝶さん！ ありがとう」と語りかける。

四時間くらい滞在して……、帰って行った。

昆虫ファミリ―は、ちゃんと心得て、しばしば訪問すると、ありがたみが薄れると、滅多に來ない。

「晩年を考える」

と書いても、そんなに深刻じゃないです。何歳まで生きるかわからんし、あれこれ考えても仕方ないから、……まっ、ざくつと希望を持ち、こうなればいいかな!! 程度のもの。

子孫はいない。甥二人Ⅱ亡き姉の息子のみ。法的には相続人ではあるが、面倒をみてもらうつもりはない。いよいよの後始末は頼まないといけないけど……。

お金は贅沢していないし、ある程度の貯えもあるから何とかなる。なるべく使いきつて、下手に残さないようにしたい。

親の相続をした時、その繁雑さに悲鳴をあげた。私の預貯金、保険金……も甥たちが面倒がらずに手続きしてもらいたいから、なるべくややこしくないように投資信託は止めた。残りはどこかに寄付することも考えている。

「やすらぎの郷」(テレビ朝日の昼ドラ。元テレビ関係者が入る老人ホームの話)みたいな介護施設を探して、早めに予約して、超楽しい老後ライフを過ごせたらなあ



……なんて！

一番切実なのは、断捨離！ ためこみ両親の娘なので、いろいろ思い出のモノを捨てられずにいる。ベランダの植物も困るだろうなあ……と思いつつ、成長を楽しみにしている。

(買わない！ 増やさない！)と肝に銘じているが、食べたものの種は植えてしまい、発芽すると喜々としてしまう。ハアッ。

衣類も処分しにくい。まだ着られるし、破れてもない。父ちゃんの思い出のパジャマ……。

テレビや本で、それ系のも見るけど、(それができりゃあ、苦労せんわ!)となる。まあ、なるようにしかならんわ！ お金払って業者に処分してもらうようエンディングノートに書いて！ 自分で片付けて死ねたらいいけど……。

ああ、前の前の本に書いた「よしこさん」は、結腸がんとわかって、マンシオンを片付け、寝具以外処分して引き払い、お姉さん宅へ↓病院で亡くなったそうだ。凄

いよ、よしこさん！ 拍手、拍手です。教えてもらいたかった。